

# 広島発掘史

幸田 淳

# 考古学とは

- 考古学という学問
- 悠久の時間の流れを感じて
- 文化は発展するのかあるいは変化なのか？

— 人類の知性は2千～6千年前をピークに低下し続けているかもしれない —

米スタンフォード大ジェラルド・クラブトリー教授

— 瞬の判断の誤りが命取りになる狩猟採集生活を送っていたころは、知性や感情の安定性に優れていた人が生き残りやすいという自然選択の結果、人類の知性は高まっていた。 (朝日新聞社2012.11.20) —

# 考古学の目指すもの

- なぜ発掘調査をするのか
- 文字を持たない時代から文字を持つに至ったあとまで。  
旧石器から現代まで
- 実証史学  
遺構・遺物によって時代を復元  
土器編年（時間の物差し）  
人間の精神世界の復元が苦手  
草戸千軒遺跡、上深川北遺跡、佐久良遺跡
- 人間の歴史を通して人間とは何かを追及する

# なぜ発掘調査をするのか

- 埋蔵文化財の保護
  - ・ 土中等にあって見ることのできない文化財
  - ・ 一旦掘削されると再現できない文化財
  - ・ 開発等によって掘削される前に考古学的調査が必要
- 保存された埋蔵文化財
  - ・ 史跡中小田古墳群
  - ・ 県史跡恵下山・山手遺跡群
  - ・ 市指定史跡長尾古墳

# 開発行為に伴う調査

- 広域合併と都市圏の拡大
  - 政令指定都市の指定
    - 丸子山墳墓群（可部）
    - 高陽ニュータウン関連遺跡
    - 末光遺跡群(ハイライフ高陽)
    - 毘沙門台遺跡群（毘沙門台団地）
    - 稗畑遺跡（佐伯運動公園）
    - 西願寺山墳墓群、梨ガ谷遺跡（はすが丘団地）

- 広域合併と都市圏の拡大
  - アジア大会開催とインフラ整備  
和田遺跡、城ノ下遺跡  
有井城跡、串山城跡
  - 新興団地開発の拡大と交通網の整備  
池ノ内遺跡、三ツ城跡、  
大町七久谷遺跡、長尾古墳、  
北谷山城跡、弘住遺跡、  
トンガ坊城遺跡
  - 市中心部の再開発の活発化  
広島城関連遺跡

# 文化財保護のための調査

- 文化財保存をめざして
  - 文化財指定のための事前調査  
中小田古墳群
  - 文化財整備のための資料収集  
広島城二の丸・本丸
  - 遺跡確認  
中垣内遺跡

# 発掘調査を通して わかったことと今後の課題

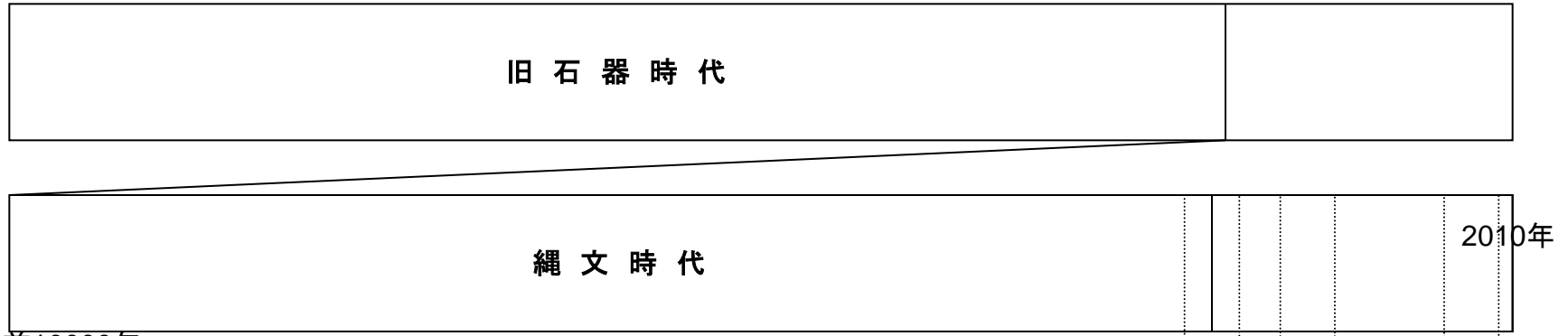
- わかってきたこと
  - ・ 弥生時代の集落の変遷
  - ・ 古墳時代の首長墓の存在と変遷
  - ・ 中世山城の分布とその構成
  - ・ 広島城遺跡の分布と江戸時代の生活実態
- 課題
  - ・ 時間的空間的に欠落している遺跡の調査
  - ・ 既に確認されている遺跡の保存





現生人類の誕生5万年前

# 時代区分と時代の長さ



紀元前10000年

0年

紀元後

2010年

**旧石器時代: 狩猟採集、石の道具を使っていた時代**

**縄文時代: 狩猟採集、縄文土器を使っていた時代**

**弥生時代: 米作りが伝わり人口が増え、ムラができる**

**古墳時代: 部族国家ができ次第に国が統一される**

**飛鳥・奈良・平安時代: 貴族を中心として政治を行う**

**鎌倉・室町時代: 武士が政治を行う**

**江戸時代: 徳川幕府が政治を行う。幕藩体制の時代**

